

宣言

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、平成二十一年四月の発足から九年目を迎え、県内外から七十一人が参加して第九回研究発表会を開いた。テーマは「大政奉還一五〇年・龍馬没後一五〇年」。社会のさまざまな場面で閉塞感が漂う中、龍馬とその時代に学び、人と人とのつながりの大切さを考えようとしたものだ。

特別講演は高知城歴史博物館学芸課長の藤田雅子さん。他に、県内外の四人の研究者が日頃の研鑽に基づいた発表を行い、私たちは多くのことを学んだ。

龍馬が逝つて一五〇年。県下では「志国高知幕末維新博」が開かれている。一方、日本を取り巻く諸外国との関係は緊張感が最大限に高まっている。このような時こそ、私たちは龍馬らの生きた激動と変革の時代に学び、何をなすべきかを考えつつ、誤りのない道を確実に歩んでいきたいと思う。

平成二十九年五月二十七日

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

